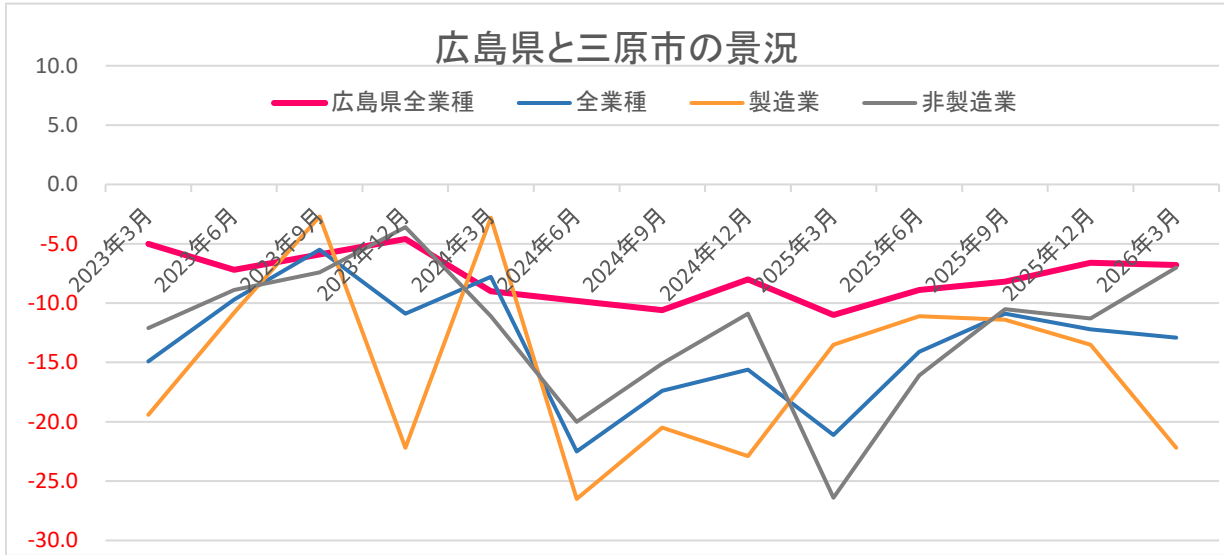


三原市の景気観測調査

令和8年 3月 期調査結果



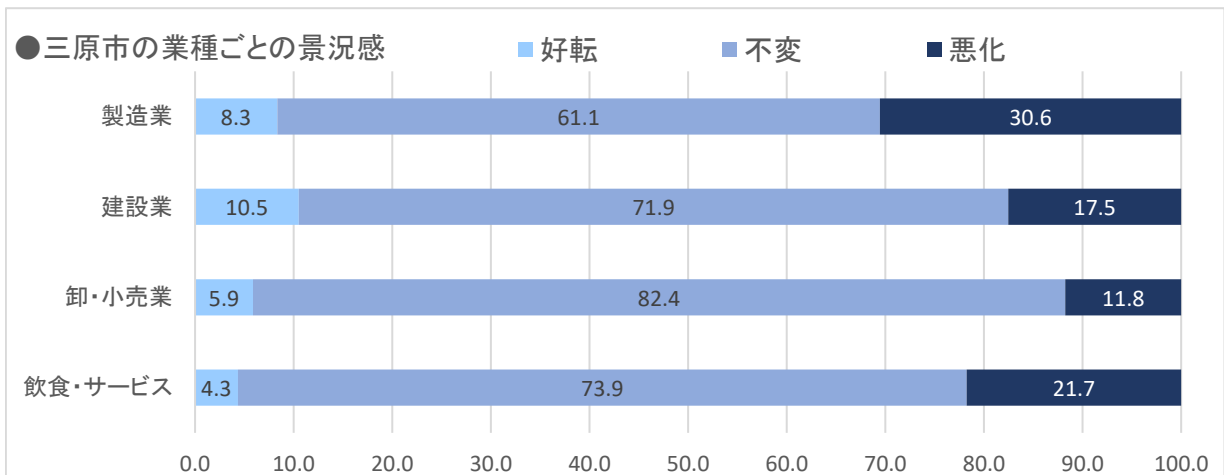
DI (ディフュージョン・インデックス方式)

DIは各調査項目について判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラス値は景気の上向き傾向（「良い」）の回復割合が多いことを示し、マイナス値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回復割合が多いことを示す。

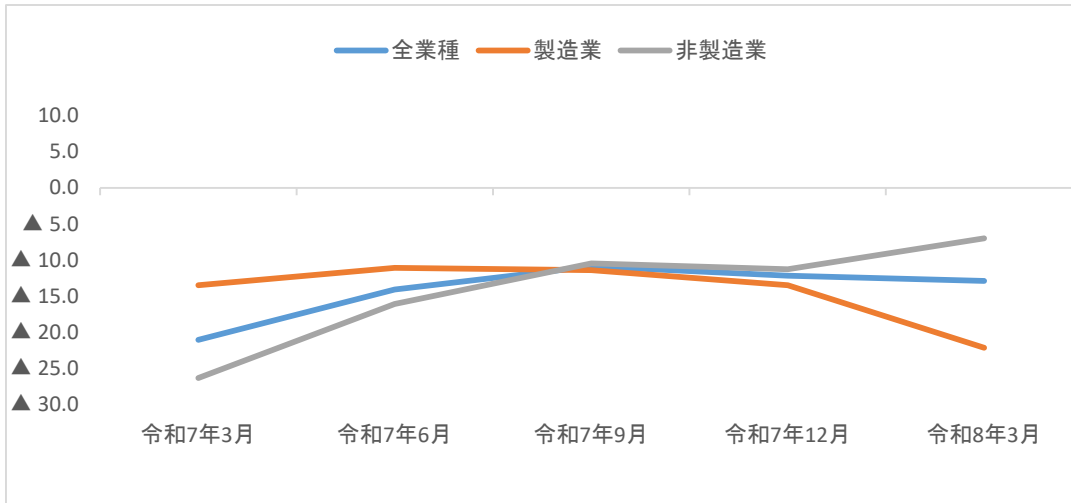
DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」)の回答割合
 (仕入価格、在庫については(下降・不足の回答割合) - (上昇・過剰の回答割合)と
 なっています。)

- 調査方法 郵送によるアンケート
- 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目
 ①令和8年 3月 を前年同月と比較
 ②令和8年 4~6月 の先行き見通しを 3月と比較
- 調査対象 三原商工会議所管内事業所 110社
 (回答社 93社 回収率 84.5%)
- 調査開始 平成11年6月～



三原市の景気観測調査 令和8年3月分概要

過去1年の景況DIの推移(三原)



景況DI	令和7年3月	令和7年6月	令和7年9月	令和7年12月	令和8年3月
全業種	▲21.1	▲14.1	▲10.9	▲12.2	▲12.9
製造業	▲13.5	▲11.1	▲11.4	▲13.5	▲22.2
非製造業	▲26.4	▲16.1	▲10.5	▲11.3	▲7.0

■全業種



全業種の3月の景況をみると、(全業種) DI (「良い」-「悪い」)は▲12.9となり、前期12月調査結果の▲12.2から0.7ポイント下向いた。

原材料費の上昇に加え、中東情勢の悪化による燃料費の高騰にも懸念が広がる。また、人件費の高騰や従業員の高齢化、人手不足で売上増加が見込めないこと、価格転嫁できていない等の意見がある。

■製造業



製造業の3月の景況をみると、(全業種) DI (「良い」-「悪い」)は▲22.2となり、前期12月調査結果の▲13.5から8.7ポイント下向いた。

●景況が好転(悪化)した理由

- ・仕入価格上昇、受注減少
- ・人員不足
- ・新規市場の拡大
- ・生産性向上
- ・中東情勢による燃料費、原材料費の高騰
- ・人件費の見直しによる適正化

■非製造業



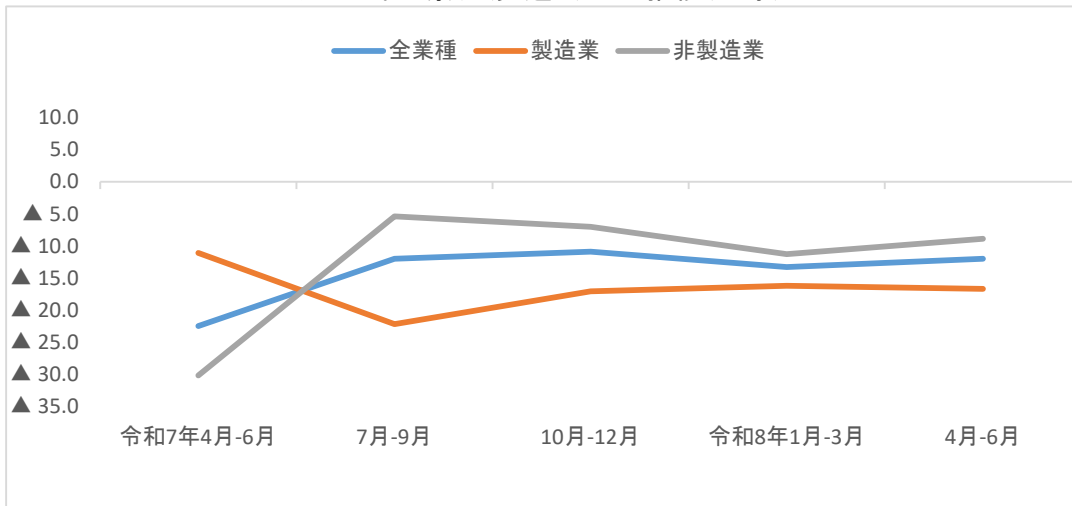
非製造業の3月の景況をみると、(全業種) DI (「良い」-「悪い」)は▲7.0となり、前期12月調査結果の▲11.3から4.3ポイント上向いた。

●景況が好転(悪化)した理由

- (建設業) ・受注(リフォーム)増加
- ・資材価格高騰の価格転嫁難
- ・新築着工減少
- (卸売業) ・少子高齢化
- ・取引先需要減
- (サービス) ・米騒動
- ・関税
- ・人件費
- ・原材料費上昇
- ・人員不足
- ・同業閉店
- ・融資返済

三原市の景気観測調査 令和8年4月～6月見通し

過去1年の景況(見通し)DIの推移(三原)



景況DI	令和7年4月-6月	7月-9月	10月-12月	令和8年1月-3月	4月-6月
全業種	▲ 22.5	▲ 12.0	▲ 10.9	▲ 13.3	▲ 12.0
製造業	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 17.1	▲ 16.2	▲ 16.7
非製造業	▲ 30.2	▲ 5.4	▲ 7.0	▲ 11.3	▲ 8.9

■全業種



全業種の令和8年4～6月期の見通しのDIは▲12.0となり、前期の▲13.3から1.3ポイント、上昇の見通しとなった。

引き続き物価高やコスト増により先行き不透明感が続いているものの、一部の分野では回復が見られる。

■製造業



製造業は▲16.7を見込み、前期の▲16.2に比べ0.5ポイント減少の見通しとなった。原材料費の上昇が止まらない中、燃料費も高騰の懸念もあり、景況感は厳しい状況である。昨年同期と比較して受注が減少して厳しいとの意見もある。

■非製造業



非製造業は▲8.9を見込み、前期の▲11.3に比べ2.4ポイント上昇の見通しとなった。

原材料費・人件費等のコストの高騰が続いているが、民間の依頼上昇や価格交渉等も進むという意見もあり回復傾向が見込まれている。一方で人手不足が課題となっているとの意見も多い。

三原市の景況（今期の状況：令和8年 3月）

業種	今期		回答者数構成比(%)		
	令和7年12月	令和8年3月	好転	横ばい	悪化
全業種	▲ 12.2	▲ 12.9	9.7	67.7	22.6
製造業	▲ 13.5	▲ 22.2	8.3	61.1	30.6
食品	▲ 27.3	▲ 9.1	9.1	72.7	18.2
合成樹脂・ゴム製品	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
窯業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0
木材・木製品	▲ 25.0	▲ 75.0	0.0	25.0	75.0
繊維	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0
金属・機械	0.0	▲ 20.0	10.0	60.0	30.0
造船	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
印刷	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	66.7	33.3
非製造業	▲ 11.3	▲ 7.0	10.5	71.9	17.5
建設業	▲ 12.5	5.9	23.5	58.8	17.6
消費財卸売業	▲ 20.0	0.0	16.7	66.7	16.7
小売業	0.0	▲ 9.1	0.0	90.9	9.1
サービス業	▲ 8.3	▲ 14.3	7.1	71.4	21.4

三原市の景況（来期の見通し：令和8年 4～6月）

業種	来期(見通し)		回答者数構成比(%)		
	1～3月	4～6月	好転	横ばい	悪化
全業種	▲ 13.3	▲ 12.0	7.6	72.8	19.6
製造業	▲ 16.2	▲ 16.7	11.1	61.1	27.8
食品	▲ 18.2	▲ 18.2	9.1	63.6	27.3
合成樹脂・ゴム製品	50.0	33.3	33.3	66.7	0.0
窯業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0
木材・木製品	▲ 25.0	▲ 75.0	0.0	25.0	75.0
繊維	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0
金属・機械	▲ 33.3	▲ 10.0	10.0	70.0	20.0
造船	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
印刷	▲ 33.3	33.3	33.3	66.7	0.0
非製造業	▲ 11.3	▲ 8.9	5.4	80.4	14.3
建設業	0.0	▲ 6.3	6.3	81.3	12.5
消費財卸売業	▲ 40.0	▲ 16.7	0.0	83.3	16.7
小売業	▲ 18.2	▲ 9.1	0.0	90.9	9.1
サービス業	▲ 8.3	0.0	14.3	71.4	14.3

調査項目別 調査結果

生産額・売上額(建設業除く)

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	増加	不変	減少	DI	増加	不変	減少
全業種	▲ 18.9	16.2	48.6	35.1	0.0	21.3	57.3	21.3
製造業	▲ 25.7	14.3	45.7	40.0	0.0	22.9	54.3	22.9
非製造業	▲ 12.8	17.9	51.3	30.8	0.0	20.0	60.0	20.0

受注額

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	増加	不変	減少	DI	増加	不変	減少
全業種	0.0	27.0	45.9	27.0	▲ 5.0	22.3	50.4	27.3
製造業	▲ 33.3	11.1	44.4	44.4	▲ 5.6	22.2	50.0	27.8
非製造業	14.0	33.7	46.5	19.8	▲ 4.7	22.4	50.6	27.1

原材料・商品仕入価格

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	上昇	不変	下降	DI	上昇	不変	下降
全業種	▲ 67.8	71.1	25.6	3.3	▲ 64.0	66.3	31.5	2.2
製造業	▲ 68.6	68.6	31.4	0.0	▲ 65.7	65.7	34.3	0.0
非製造業	▲ 67.3	72.7	21.8	5.5	▲ 63.0	66.7	29.6	3.7

製品・商品販売額

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	上昇	不変	下降	DI	上昇	不変	下降
全業種	30.1	35.6	58.9	5.5	37.0	41.1	54.8	4.1
製造業	31.4	37.1	57.1	5.7	37.1	40.0	57.1	2.9
非製造業	28.9	34.2	60.5	5.3	36.8	42.1	52.6	5.3

製品・商品在庫

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	過剰	適正	不足	DI	過剰	適正	不足
全業種	▲ 3.8	9.6	84.6	5.8	0.0	3.8	92.3	3.8
製造業	▲ 5.7	8.6	88.6	2.9	0.0	2.9	94.3	2.9
非製造業	0.0	11.8	76.5	11.8	0.0	5.9	88.2	5.9

調査項目別 調査結果

資金繰り

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	好転	不変	悪化	DI	好転	不変	悪化
全業種	▲ 12.9	7.5	72.0	20.4	▲ 8.7	7.6	76.1	16.3
製造業	▲ 25.0	2.8	69.4	27.8	▲ 5.6	11.1	72.2	16.7
非製造業	▲ 5.3	10.5	73.7	15.8	▲ 10.7	5.4	78.6	16.1

採算(収益)

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	黒字	トントン	赤字	DI	黒字	トントン	赤字
全業種	▲ 2.2	19.4	59.1	21.5	1.1	18.5	64.1	17.4
製造業	▲ 8.3	16.7	58.3	25.0	▲ 5.6	16.7	61.1	22.2
非製造業	1.8	21.1	59.6	19.3	5.4	19.6	66.1	14.3

従業員(常用)

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	過剰	適正	不足	DI	過剰	適正	不足
全業種	▲ 27.3	3.4	65.9	30.7	▲ 17.6	6.6	69.2	24.2
製造業	▲ 28.6	5.7	60.0	34.3	▲ 23.5	2.9	70.6	26.5
非製造業	▲ 26.4	1.9	69.8	28.3	▲ 14.0	8.8	68.4	22.8

従業員(臨時)

業種	今期	回答者構成比(%)			来期	回答者構成比(%)		
	DI	過剰	適正	不足	DI	過剰	適正	不足
全業種	▲ 15.4	2.6	79.5	17.9	▲ 19.2	0.0	80.8	19.2
製造業	▲ 10.0	3.3	83.3	13.3	▲ 16.1	0.0	83.9	16.1
非製造業	▲ 18.8	2.1	77.1	20.8	▲ 21.3	0.0	78.7	21.3

従業員数(常用・臨時)のDIについては、調査開始時が就職氷河期という時代背景もあり、これまで「不足」-「過剰」でDIを算出してきました。しかしながら、労働人口減少による人手不足問題が懸念される現状にそぐわないため、令和7年6月分より「過剰」-「不足」で、DIを標記します。